

今年の夏は本当に暑く大変でしたね！



9月は中秋の名月（十五夜）です。

満月は1年に12回ありますが、9月が1年で最も空が澄みわたり、月が明るく美しいとされています。平安時代ごろから団子、ススキ、芋などを飾り、お月見をするようになったようです。

地域により、色々な風習があるようです。私が住む近くの地域では、十五夜の日に子供たちは、近所の家を回りお菓子を貰うそうです。昔は、ぼたもちだったそうで、「十五夜ぼたもち、けいらっせい！」と歌いながら貰い歩くそうです。（けいらっせい＝下さいな）方言言葉

「年々、子供の数も減り、回って来る子も少なくなり寂しくなった。」とお年寄りの方が言っていました。来てもらう家の人たちも楽しみにしているのですね。これからも続けられるといいと思います。（ワーカー H. N）



方言が、見直されているそうなの。

「下さいな」を「けいらっせい」と言うのは、私の育った地域でも同じです。三浦半島の中でも、言葉の似ている所とそうでない所があって面白いです。この「けいらっせい」は、「〇〇して下さい」の場合にも使えて、「★★ちゃんに、小遣いうんめろやってけいらっせいよ」は、「★★ちゃんに、小遣いたくさんあげて下さいよ」になります。

さて、こここのところ、方言がにわかに見直されているそうなの。3.11以降、故郷に対する思いを新たにされた方々が多いからとか、方言の持つ温かみが人間関係を柔軟にさせるからとか、諸説あるようです。啄木が「そを聴きに行く」と詠んだとき、方言は自分の故郷の言葉であったわけですが、今は、必ずしもそうでないところで認められてきているのが興味深いですね。（ワーカー T. K）